

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	風越山と暮らしを結ぶプロジェクト
事業主体 (連絡先)	風越山と暮らしを考える会 (電話 0265-23-5872 飯田市丸山公民館内)
事業区分	主：(6)ウ 森林づくりと林業の振興 関連：(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	791,265円 (うち支援金：517,000円)

事業内容

【風越山と暮らしを結ぶ一連の事業】

- ①「ふれあいベンチ運動」…賛同者を募って、風越山の間伐材でベンチを作り、路地端など、地域の日常生活空間の中に設置した。
- ②小学校や文化祭での木工作指導、文化祭で風越山の恵みを活かした作品展を実施した。
- ③「作業棟」の整備…風越山の間伐材を生かす事業を今後継続的に実施するため、簡易製材機(借用品)を据え付けられる作業棟を整備した。



【作業棟での製材、ベンチ】

事業効果

- ・ 路地端に設置した木製ベンチが、今後ご近所の日常の交流の素地となり、子どもの見守りなども含め、街中に人々が集う潤いある地域となることが期待される。
- ・ 小学校や文化祭での木工作指導は好評で、子どもの創造性を育み、様々な木の性質を肌で実感する機会になっている。
- ・ 作業棟ができたことで、今後更に、風越山の恵みを暮らしや潤いある地域づくりに活かす事業の活性化が期待される。

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 路地端のベンチを核としたふれあいの場の創出、地域コミュニティの活性化
- 子ども等の見守り、防犯効果
- 風越山とその恵みへの理解の促進
- 山林所有者の間伐意欲の助長

自己評価 (目標達成率) 【 B 】

今後の取り組み

- ・ 間伐材による「ふれあいベンチ運動」をはじめ、各種の「木づかい」の事業(木工作指導、木工作コーナー、作品展など)は、今後も継続、拡大していく。
- ・ 風越山が抱える様々な課題を巡っての学習活動を基礎に、更に住民が山に直接関わるような事業(緩衝帯整備や散策道整備など)に向けて取り組んでいく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

105
x-34